

ミン・ヒジン第二回記者会見

2024.05.31 14:30 韓国プレスセンター、中区

TRANSCRIPT ARCHIVE

文書公開日：2025年01月05日

この文書は個人的な鑑賞用として作成されており、その正確性は保証されません。
韓国語の原文と照らし合わせてご確認ください。
パソコンまたはアプリでの閲覧をお勧めします。
13NEVERDIE

1. [0:00:00] 仮処分認容についての感想
2. [0:11:35] これは何をを得るための紛争なのか
3. [0:21:00] 経営者は数字で証明しなければ、狂った消費者、大学祭
4. [0:32:55] 漢江大路42から
5. [0:35:50] 音盤押し出し、仲間外れ、他のチャプターへ移ろう
6. [0:42:55] ADORに対する背任、株主総会
7. [0:55:00] 私たちを放っておいて、ドキュメンタリーの提案、仕事の時は拗ねないで
8. [1:06:35] 毒素条項、インハウスの競争
9. [1:14:30] 社長と親たちの関係
10. [1:20:35] 独立性、NewJeansとのビジョン、Hurt M/V
11. [1:30:50] もうやめよう疲れた、年を取ったADHD
12. [1:36:24] 他人が美しい人生を送るのを見るのが好き

[動画リンク](#) (SBS, 1:45:22)



1. [0:00:00] 仮処分認容についての感想

ミン・ヒジン

はい、こんにちは。ミン・ヒジンです。あの、私こういうのが少し慣れなくて...はい。

(カメラのフラッシュがたかれる)

ミン・ヒジン

お話を始めてもよろしいでしょうか？

進行者

はい、では今から終わりにいたしますので、記者の皆様、お席をお願いいたします。

ミン・ヒジン

ありがとうございます。

あの...こんにちは。このように二度目のご挨拶をさせていただくことになりました。今回は幸いにも勝訴してのご挨拶となりましたので、少し気持ちも楽ではございます。今日記者会見を行うことになった理由は、まあ様々あるかと思いますが、まずは私たちの状況、そして私の考えをお話しさせていただくのがよいのではないかと思います、実は記者会見を行うことになりました。

まず、ご挨拶を申し上げたいと思います。実は私、あの...記者会見をしてから約一ヶ月ほど経ったと思うのですが、その間、私の人生において本当に本当に辛いことでもありましたし、そして二度とあってほしくないことでもありましたので。私にとってはとても、その少し辛い時間だったのですが、とにかく感謝すべき方々が多くいらっしゃって、まず、その方々に感謝の意を本当に申し上げたいと思います。

実は、まあ私の知人とか応援してくださった方々、このような私の周りの方々よりも、私を知らないのにこのように見ず知らずの人をこんなに応援してくださって、そしてDMでもそうですし、コミュニティ？実は私、コメントはあまり見ないので直接は見いてませんが、知人たちがたくさんキャプチャーを送ってくれました。

でも十分に誤解される可能性があり、このように複雑な状況なのにもかかわらず、冷静な視点で見ようと努力してくださった方々、そしてこのように私を支持し、応援してくださった方々が実は本当に本当に感謝で。私が本当に一人一人全員にご挨拶したいほど、その方々が私にとってはとても大きな力になったということを必ずお伝えしたいと思って... (声を詰まらせながら話す)

あの...もちろん良い話ばかりではありませんでしたが、あの...わかりません。この感謝の気持ちをどう表現すればいいのかわからないのですが。とにかく「え？これは私のこと？」と思われる、私を知らない多くの方々に心から本当に本当に感謝だったとお伝えしたいと思いますし、実はその方々のおかげで私が何か、変な選択をしないでいられたような気がします。

そして私たちのBUNNIESのみなさん。DMで私にたくさんご連絡をくださったのですが...皆様のおかげでなんとか乗り越えられたということを必ずお伝えしたいと思いますし、あの私が心の中で少し誓ったことがあるのですが、事がうまく進み、整理がうまくいけば、私がどのような形であれ、必ずこの方々に恩返しをしようと思っています。

なので...(涙を拭う)、ただ感謝だということをお伝えしたいと思いますし、あまあこれも何か感情的にアピールしようとしているものでは全くありません。私が実はこういう場に出ることをそれほど好まないのに、前回の記者会見では私がどうしようもない状況だったため、とても切迫した思いでこのように...とても急に立つことになって、

実は私、こんなふうにかメラで撮られることをすごく強迫的に苦手としてしまして。でも私は実は、その時は3日間服も着替えられなくて、顔も洗えない状態で実は出てきたんですよ。そうしたら私の一番みすばらしい姿をこのようにすべてさらけ出して、かえってその強迫に対するその何か、コンプレックス？まあ何かその強迫が少し消えたような気もするんですが、そうしたら克服できたような気もするんですが、あの...

今日は、先ほども申し上げたように、良いことがあったものの、実は未だに越えなければならない山がたくさんある状況で、これは法律上・法的に複雑な面が多く、一般の方々にはなかなか理解しづらい内容だと思いますので、そういった部分を私が一度整理を、していく方が良いのではないかという考えで、はい。ただ整理をご説明するために、今回お話をさせていただくことになったんですし。

そして実はまあ、ここでこのようにお話しするのが適切なのかもわかりませんが、その判事の方々にも私は...(5秒間の映像トラブル、放送局共通)...お話を必ずさせていただきたいと思っていますし。とにかくこのように知らない人なのに、たくさん支持してくださった方々に心から本当に本当に感謝だということをお伝えしたいと思います。

あの、それからですね、弁護士の方々が今日はより多くお話しくださると思うんですが、私が今日お伝えしたいお話は、まず一つ目に皆様に理解していただきたい部分は、私が今HYBEの子会社の社長でもあります、私の一番目の身分は実はADORの代表取締役としての資格なんです。でもこのADORの代表取締役としての何か役割が、その親会社の子会社社長としての役割と利害が衝突する時があるんですよ。

そのため私は実は最初から、これがADORの背任だと言われた時に、「これがどうしてADORの背任になり得るのか？」私の第一の本分は実はその、ADOR代表取締役としての私の役割遂行だったんですよ。そうしたらその役割遂行が私にとって1番優先だったということを確認していただいて。実はこれから話を聞いていただければ理解が早いかなと思いますし。

そして申し上げた通り、解決しなければならない宿題がたくさん残っているため、実はこれからそういった部分に対する私の計画？そうしたら、なぜ記者の方々が私に個別に連絡くださって、気になることをたくさんお話ししてくださるんですよ。でもそれを一つ一つすべてお答えできないため、今日お話しさせていただこうと思っているんです。あの、とりあえずそういった目的で今日この場を設けたということをお伝えしたいと思います。では弁護士の方がお話しくださると良いと思います。（判決についての説明をしましょうか？）

イ・スギョン弁護士

まずは、今日皆様ご存知の、その話からしますと、今日の株主総会ではHYBEも裁判所の決定に従って議決権を...

記者たち

よく聞こえません。マイクを近づけてください。

イ・スギョン弁護士

その取締役、ミン・ヒジン解任の件について、賛成の議決権を行使しませんでしたし。そして議案の順序通りに申し上げますと、残りのお二人の取締役の解任の件は可決されました。そして同じくHYBE側の取締役3名の選任についても可決されました。そういう状況で、これから取締役会はミン・ヒジン代表1人、そしてHYBE側の取締役の方3名で構成されることになりました。まずその事実をお伝えしておきたいと思います。

私たちが心配しているのは、これから取締役会がそのようになってしまうと、HYBEがどのような措置や行為を、立場も表明しましたよね。するかもしれませんが、依然としてミン・ヒジン代表が代表取締役から解任される可能性があります。そのため、その点について誤解をなくすためにも正しくお伝えしたいと思っています。なぜなら代表取締役は取締役会で選任されるため、取締役たちの決議さえあれば代表取締役から解任される可能性があります。

もちろん今私たちがお伝えしたいのは、裁判所の決定の趣旨が結局は代表取締役、取締役としての辞任、解任事由がないという趣旨であるため、その趣旨を尊重するのであれば、選任された取締役の方々もそのような議決権を行使することはできないということです。しかし法的にそのような取締役たちの議決権行使を強制する方法はありません。それが仮処分であれ訴訟であれ。

そのため、私たちがまだ不安な状況があるのは事実ですし、もしかしたら「あ、仮処分決定が出たから、これでミン・ヒジン代表が代表取締役の職位を維持できるだろう」とこのように断定的に考えていらっしゃる方々がいるようですので、その部分を少し説明させていただきたいと思いました。

イ・スミ弁護士

あの、ちょっとよろしいでしょうか？もっと付け加えて...その付け加えてお話しさせていただくと、おそらく決定文を少し入手して見られた方がいらっしゃると思います。株主間契約

にどのような内容があるかという点、既に公開された内容なので。HYBEはADORの代表取締役としてミン・ヒジン代表が代表取締役として在任できるよう5年間、本人が株主総会で議決権を行使してはいけませんし、もう一つ付け加えて、HYBEが選任した取締役たちにミン・ヒジン代表が継続して代表取締役になれるよう必要な措置を取らなければならないという規定があります。

そのため、これから私たちが、HYBE側の取締役たちが今大々的に選任されたため、まもなく取締役会がまた招集される可能性があります。なぜなら、ここADOR取締役会は各取締役が招集を要求することができるんです。そのためHYBE側の取締役たちが招集をする可能性があり、その時にミン・ヒジン代表取締役の代表取締役解任の件を上げる可能性もあるだろうと私たちは考えていますが、実は今日選任された取締役の方々がそのような通知はまだしていません。

そして、その株主間契約の当事者たちの中には、その株主たちサイン、HYBEとそのミン・ヒジン代表とその他の株主2名のサインもありますし、ADORも株主間契約の当事者です。それで、ADORがそういった取締役会を開催した場合、また「取締役会を開催するな」という仮処分を申し立てることになり、私たちも疲弊しますし、ご覧いただいている皆さんにもご負担をおかけするのではないかと考えているところです。

そのため私たちが記者会見を最初に開く時に冒頭でお伝えしたいのが、いずれにしても株主間契約を守りなさいというのが裁判所の判決で、なぜなら解任事由がないため裁判所の決定なんです。そのため取締役たちにもミン・ヒジン代表を代表取締役から解任するためのそのような行為をしないようHYBEが適切な措置を取らなければならないのではないかとこのことを、このような場をお借りしてまたお伝えしたいと思いました。

2. [0:11:35] これは何を求めるための紛争なのか

ミン・ヒジン

あの、私がこれからお伝えしたいお話は、後ほど質疑応答でもっとお話しできると思いますが、実は私は個人的には、私という人間個人的には今回冤罪を晴らすことができたため、実は少しすっきりしているところがあります。そうしたら、まあ例えば本当に罪があるかないかは別として、これから誰かが問題提起を先にすることになれば、その相手は当然罪人にならざるを得ない状況になるわけですし、それは私はよくない状況だと思ったため、それを正すために仮処分を出したわけで、このように処分が出たため個人的には実は大きな荷物を下ろしたという思いがするんですよ。

私がこのように、ただやたらとこのように、すごく誤解されたり、わざと変に考える方々もいらっしゃるようですが、職位への執着や、お金への執着自体が実はこの紛争の何か要因ではなかったんです。そうしたら、それは今でもはっきりしていて。そのため個人的な冤罪が晴れた状況で実は私はより自由な選択ができるのですが、それにもかかわらず私が望んでいる部分は実はNewJeansというチームで私が成し遂げたかった、そして私たちのメンバーたちと成し遂げたかったビジョンを実現したいというある願いが、実は本当に大きくて。

私は実は本当に正直に言って、お金と交換しろと言われれば交換できるんです。なぜなら、私たちが一緒に挑戦しようと約束していたビジョンが私たちには、つまり誰かにとってはお金の方が大切かもしれませんが、私たちには実はそれがより大きな...私たちがこの仕事を進めていく上での本当にビジョンだったし、そのビジョンを既に私はメンバーたちと共有もしていて、私たちが青写真を全部描いているものがあるのに、あの今、私が解任される要件がないにもかかわらず、そのビジョンが折られるというふうに考えること自体が私たちにとっては実は非常な苦痛で。

そして私が感じた時に、これが経済的にも、つまりその株主の方々にも大きな被害だと考えているんですよ。なぜなら私たちがこれから東京ドームを6月に準備していますし、そして

来年にワールドツアーを準備していたのに。ワールドツアーのためには実はトラックリストが確実に確保されなければならないので、そのトラックリストの確保のために私たちがアルバムを年末にまた準備していたんです。でもそのような計画が今非常にこの一ヶ月余りのこのような紛争で混乱してしまったんですよ。

つまり準備している途中で何かはペンディングされた状況もありますし、何かは検討中の状況がとても多くなってしまって、あのこのような機会と価値を果たして無駄にしなければならないのかについて...なぜならこれは誰かにとっては非常に大きな夢なんです。そしてまた新しい挑戦として実はK-POPのまた新しいある種のもメンタムになる可能性もある機会なのに、これが誰のために、そしてあるいはどんな目的でこれが挫折しなければならないのか、私は実はよくわからないと、このように考えているので。

私の確実な目標は実はNewJeansと私が計画していたある計画を、ただ非常に誠実に、そして問題なく上手く遂行できたらいいなということを少しわかっていただきたくて。そしてこれを今HYBEも聞いているじゃないですか、私の話を。だからどんな妥協点が上手く用意されたらいいなと。

私はこれが紛争が、まあもちろん紛争というのが、あの まあ...これは正直に言って、今戦いながらも、これが誰のための紛争なのかよくわからないし、これが何を求めるための紛争なのかよくわからないという思いがするんですよ。そのため実は誰かを非難して中傷して、まあこういうことがもう飽き飽きしますよね。すべての人々が今うんざりしていて。そして実はその因果関係や事実関係は、このように言葉数句で、そして記事数行で表現できないんです。私たちの人間関係がどれほど複雑で大変なのに、それがどうしてこのように単純にそれで表現できるのでしょうか。でもそれをまた私たちが公開的にそこですべて話す必要もないんですよ実は。

そのため私は大義的にどちらがより実益なのかについて考えて、あの皆が良い方向、なぜならば株式会社というのは実は一人だけの会社ではないという意味なんです。つまり株主たちで、非常に多くの様々な株主たちで構成されていて、彼らの利益のために、そしてまた一

つの事業的なあるビジョンのために、今みんなで一緒に進んでいく組織にならなければならないのに、

私が実はADORのためにこのように献身して一生懸命仕事をしてきたのに、このような部分が私はHYBEに大きな貢献になったと個人的に非常に考えていますし、そして裁判所でも当然これはADORに対する背任ではないと話が出た状況で、それならば私たちがどんな方向に進まなければならないか？このような部分が必ず建設的に健全に議論されなければならないと考えているんですよ。

そのため私は、もう一度、局面が変わらなければならないと考えています。皆のためにどんな決定をしなければならないのかについて再考が必要だと。だから感情的な部分はすべて置いておいて、これから皆の利益のために動く部分について、もう一度考えてみなければならないのではないか、それが経営者マインドで。そしてそれが実は人間的にも多くの道理ではないかという思いがして、私のこのような部分をお伝えしたかったんですし。

そして私は弁護士の方々に、それでもこの判決文について様々な疑問点がある。なぜなら私に記者の方々があまりにも質問が多いんです。でも私が実は法理的な部分をきちんとお答えできませんし、このような部分は弁護士の方々が記者の方々がたくさんいらっしゃる時に説明してくださる方が良いと思いますので、はい。

イ・スミ

質疑応答の時にすることだと思っていたのですが（笑）、この過去、約3週間の裁判でした。非常に激しく争いました。皆様にすでにメディアを通じて公開されたカカオトークであれ、このような内容がありますよね。それがほぼ漏れなく裁判所にすべて提供され、両側から書面も数十件が出るほどにこのように激しい攻防をしまして。そのような内容が、その記者の方々が電話して「このようなことはどうですか？」と聞かれる内容がすべて裁判で議論されました。そして判事も、ほぼすべての争点について簡単にでも一行でも判断をすべてされました。

された内容が主になった部分が、まあ解任事由があるのか、辞任事由があるのか、これが最も核心的な争点だったのですが、その言葉が解任事由、辞任事由と言いながら、それぞれ個別的に解任事由1、2、3、4、5、6、7、8...（笑）本当に数が多いんです。そのメディアに流出したそれぞれのカカオトークがすべて手がかりとなってそうなのですが、その決定文の内容要旨、もう聞かれたと思いますが、一つも解任事由、辞任事由として言及されたものは一つも認められませんでした。はい、すべて退けられました。

そしてこの部分で私たちがまた、この放送を聞いている他のブロガーであるとか、YouTuberであるとか、また様々に関心を持っている方々をお願いしたいのが、このようにメディアを通じて出たそのカカオトークであるとか、メモであるとか、このようなものが実はHYBEが監査権というものを行使してやったものなのですが、これは商法上では単なる監査ではなく、その子会社に対する調査報告要求権という権利なんです。そのため監査とは少し文脈が違いますが、とにかくそれを行使してやったものなのですが。

HYBEと子会社は厳然と独立した法人ですよ。その独立した法人が親会社が子会社にそのような資料を要求して行うためには、明確に親会社の業務のために必要な事項、その親会社の監査業務のために必要な事項に限定されるのですが、そのようなものではなかったというのが私たちの主張で、また裁判所で判断されたのが、いずれにしても背任、辞任事由というものが一つもないと判断されたわけじゃないですか。結局振り返ってみれば監査理由が全くなかったことが裁判所を通じて確認されたわけです。

そうすると、それが何を意味するかというと、そのように流出したカカオトークであるとか、このようなメッセージはすべて違法に抽出されたものです。みなその当事者たち、カカオトークの当事者たちすべてがその使用同意をすべて撤回し、またそもそも同意をされなかった方々もいらっちゃって。そのため、そのような方々のものが今でもたくさん出回っていますが、使用しないようにすること、それは本当にお願いしたいと思います。まあ、争点はその程度だったと思います。

3. [0:21:00] 経営者は数字で証明しなければ、狂った消費者、大学祭

進行者

それでは、私たちがQ&Aの時間を3時10分まで持ちたいと思います。ご質問がございましたら手を挙げていただき、そうしましたら私たちのスタッフがマイクをお持ちします。質問の前に所属とお名前をお願いいたします。

トップデイリー ジョン・ヘイン

はい、こんにちは。トップデイリーのジョン・ヘインと申します。他でもなく、HYBE側の取締役が選任され、取締役会の構成が1対3になったとおっしゃいましたが、もしかして株主間契約で約束した部分では問題ないのでしょうか、気になりましたし。そして解任された二人の取締役の方々が登記取締役からのみ退き、業務は続けていらっしゃるのかも気になります。

そして最後に、裁判所の判決で裏切りを図ったという点については判示をしましたが、でもこれが株主間契約上の善管注意義務に違反したことにならないのか、ここでまた争わなければならぬのではないかと思います。もしかして裏切りを謀ったと判示した点については代表の立場はどうなのかも気になります。

イ・スギョン

まずは、その裏切りという言葉が多く言及されているようですね。しかし判決文を読まれた方ならお分かりだと思いますが、裁判所の決定文で言いたかったことはそれではありません。「裏切りの行為になり得るとはいえ」というような表現を使ったのであって、結論は言いたかったことはその後にあります。法令や定款違反行為、会社に損害を与える行為がなかったという点に主要なポイントがあるのであって。何かHYBEの立場がそうであるため、

ポイントを少し間違っただけだと思われるようです。そのため、その裁判所が謀ったことを認めたという部分は、主にその力カオトークの内容を見てそのように判断されたようです。

でも、それは以前にもお話ししましたが、ミン代表が苦しかったので様々な考えをされたわけですね。オーナーが少し変わってくれたらいいな、このような考えもされたため、そのような力カオトークの内容を見て裁判所がそのように、認めたわけでもありません。そのように謀ったように見えるとして、結局はそれが裏切りの行為になり得るかもしれませんが、結局定款違反行為や損害を与えた行為はなかったということであり。そうすると、その結論はおっしゃった善管注意義務違反などとは距離が遠くなるわけです。

次の質問は、あ、取締役会の構成。取締役会の構成は株主間契約の内容は既に公開されたのでお話ししますと、ミン代表が1人の取締役指名権を持っており、その取締役が代表取締役を務めることになっています。つまり、ミン代表が代表取締役を務めることになっていて、HYBEは残りの取締役について指名権を持ちます。そのため、その2名になる可能性もあり、3名になる可能性もあります。

二つ目の質問は、今回解任された取締役の方々は引き続き勤務する予定と承知しています。ADORが今やるべきことが多く、会社に必要な人材の方々であるため、また取締役に就任される前から既にADOR...創立メンバーですね？

ミン・ヒジン

はい。

イ・スギョン

創立メンバーとして非登記役員として継続して仕事をされてきたため、引き続き勤務する予定と承知しています。

ミン・ヒジン

私、その裏切りについて先ほど私の意見を聞かれましたよね？そのため私もお話ししたいのですが、これが私は、この争いが言葉遊びの争いになることが本当に嫌だったんです。先ほど弁護士の方がおっしゃったように、判決文をよく読んでみると、実はその文言がそれほど重要な文言として使用されたわけではなく、その後の判決のための内容に、つまりその相手が主張する内容を排斥するための表現として使われたということなんです。

つまり裏切りという表現は信義が壊れたということですよね。しかし信義は一人だけでは壊れることはできないんです。双方で壊れることなんです。そして非常に感情的な言葉なんです、信義が壊れた、裏切りという表現は。でもこの裏切りという表現と背任というある法律的、そして経営的な判断には実は因果関係がありません。

つまりどういうことかというと、私が考えるに、笑顔で上司の機嫌を上手く取りながらいつも上司に良くしている、非常に忠誠心のある部下が実績を出せなかったら、私は株式会社に笑顔で毎日私の機嫌を取るけれど、その実績を出せない社員が裏切り者なのかそうでないのか区別するのは難しいと思うんですよ。

誰かにとって...私は実は会社は親睦のために通う集団ではなく、経営者は数字で証明しなければならないと考えています。そのためこの期間内にどの程度の収益を出し、会社にどんな利益を与えたかが実際に裏切り感を感じさせるかどうかのより重要な基準になるべきではないでしょうか。

実は私がADORで2年間で成し遂げた成果は、ボーイバンドは通常大きな収益を上げると言われますが、トップボーイバンドが5年あるいは7年かけて達成したものをガールグループで2年で出したんです。このような成果を出した子会社の社長に「裏切り」という言葉を使えるのか、私にはとても不思議です。

このような感情的な言葉は義理の集団でこそ使われる内容であって、株主たちの利益と新しいビジョンを作り出さなければならない株式会社で使うべき言葉なのか、私には分かりません。経営者として見せるべき姿勢は数字だと思います。どんなに一生懸命やっても数字が出

なければ、経営者として叱責を受けるべきで、感情的な努力は認められにくいのが正しいんです。

私は理性的な観点、冷静な観点からこういった案件を見るべきで、ある時は感情を適用し、またある時は理性の物差しを当てる、このように都合よく状況を変えて話をするのは、すべて言葉遊びだと思います。だから常に何事も本質を見なければならぬと考えています。

質問された内容ではありませんが、私は元々話したいことが非常に多い人間なので（笑）、私の経営哲学というか、経営的にどのような考えを持っているのかをお話しすると、こういった内容がより理解されやすいと思って、少し付け加えたいのですが... (水を飲む)

前回の記者会見では非常に興奮していて、怒りが天まで届くほどだったので、乱暴な言葉を多く使いましたね。でも普段の私がそんな乱暴な言葉を使うのでしょうか？（笑）私も普通の時は普通の人間なのに。

ただ、私の話を聞いて誤解された方がいらっしゃるようですが、経営と投資は全く異なる概念なんです。投資やM&Aは、会社を経営する本質とは全く異なる話だと思います。前回の記者会見で申し上げたのは、私は投資やM&Aには興味もなく、そのため実はこの乗っ取りなどということがピンと来なかったんです。副代表の意見を聞いたのも、実は私が門外漢だったからこそ話を聞いていただけなんです。

それが門外漢という意味であって、私は個人的に経営には才能があると思っています。

（笑）どう思われるかわかりませんが。なぜなら経営は大したことないと思う部分があって、大したことだけど大したことじゃないとも思うのは、普通プロデュースと経営を分けて専門経営者がやるべきだという話をよくしますよね。でも人々は言葉に惑わされます。「専門」という言葉をつけると、急に何か非常に専門的な感じがするんですよね？でも実は専門というのは、その領域についての理解がどれだけあるか、つまりその業務をどれだけ上手くこなせたか、つまり業務経験が基本にならなければならないと考えています。

前回は申し上げましたが、エンターテインメント事業という業界の特徴は、とても難しく不思議なものがあります。人を扱う仕事なんです。無生物のような製品で工場を回す仕事ではなく、人の心を動かし、人の心で働く仕事です。それが非常に大きな変数になります。

そのため、私はこの業界を「狂った産業」と表現することがあります。人の感情が極大化された時は、極端な例えですが、たとえどんなにひどいものを出しても買ってくれる〔韓国語原文：たとえウンコをしても買ってくれる〕。これがいわゆる「狂った消費者」なんです。大したことでもないのに突然買いたい気持ちが湧く...つまりリスクという意味では、急激な成長も可能ですが、それだけリスクも非常に大きいということです。ご存知の通り、誰かの熱愛説や感情的な動揺があれば、エンター事業は株価が大きく揺れるんです。

このようなリスクに対処するために、私はエンター業界の豊富なノウハウが必要だと考えました。20年間仕事をしてきて感じたのは、プロデュースと経営は分離してはいけないということです。分離した瞬間にバラバラになり始めて、まとまりが取れなくなる、そういう私なりの経営哲学を持つようになりました。

例えば、今回NewJeansが大学祭を全国で、できる限り全国で回ろうと努力したのですが、この計画は実は私がかなり前から立てていました。大学側とも全て話をしなければならなかったからです。理由はとてもシンプルです。地方でもNewJeansを見たい方々がとても多いのに、私たちはまだコンサートができる状況ではないので、コンサートができないため会いに行くにはこのような大学祭しかないんです。そして大学生たちが生む素晴らしい熱気があるんです。その熱気が私たちのメンバーたちにもとても良い影響を与えます。

そして来年にワールドツアーを計画していましたよね。そのため私たちにはステージをたくさん練習する、その練習の場が必要だったんです。でもLollapaloozaやCoachellaのようなステージに最も似ているのが、私が感じるには大学なんです。大学に行くとその熱気がフェスの熱気とよく似ているんです。だから「ああ、私たち、大学祭をたくさん回らなければ」と。

でも大学祭を回るという決定をすると、また誰かは私たちを非難します。「金儲けのために子供たちにイベントをさせるのか、金儲けのためにこうやって引っ張り回すのか」というような誤解をするわけです。私はそういう誤解を受けたくありませんでした。これはファンサービスもしながらメンバーたちの実力も伸ばせて悪いことは何もないのに。私たちの新曲も宣伝できる。一石二鳥の様々なことを効率的に実行するために、私たちの本心まで見せるには寄付する以外にない、これは。なぜならそれはまた学校のお金ですから。まあ私たちがお金を稼ぐにしても、私はいつもお金を稼ぐ時は、できれば金持ちから大金を受け取りたいのであって、お金のない人たちから小さなお金を集めて小銭で金持ちになりたい気持ちはありません。ただこれが...

4. [0:32:55] 漢江大路42から

エクスポーツ キム・イエナ

お話の途中で申し訳ありませんが、今は質疑応答の時間で、今は時間があまりないと思うのですが。

ミン・ヒジン

はい、私は時間を少し延ばすこともできますが。

エクスポーツ キム・イエナ

ご回答を先にいただいて。

ミン・ヒジン

回答はしましたし。

エクスポーツ キム・イエナ

今付け加えるとおっしゃったので。少し早く進行をお願いいたします。

ミン・ヒジン

申し訳ありませんが、これは私にとってはとても重要な話なんですよ？

エクスポーツ キム・イエナ

はい、私たちも今時間がない人たちですし、なんやかんや...

ミン・ヒジン

それでは申し訳ありませんが、私がこの話だけをしてから記者さんの質問から受けさせていただけます。記者さんが急いでお帰りになる可能性もあるかもしれませんので。

エクスポーツ キム・イエナ

急いで来た人たちじゃないですか。（はい）午前中に急に呼ばれたじゃないですか。（はい）そのため質問が皆さんたくさんあると思うんですよ。（はい）そのため、とても申し訳ありませんがお話を少し短くお願いして、質問を受けていただけませんか。

ミン・ヒジン

すみませんが、私を叱るようなことではないと思います。

エクスポーツ キム・イエナ

私たちも今とても急いでいて、気になることが多いのでお話ししているんです。

ミン・ヒジン

それがこの質問の数が決まっているわけではないじゃないですか。この内容は実はとても重要な内容でもあるので私がお話ししているんですよ。そのため私も...

エクスポーツ キム・イエナ

うんぬんかんぬん...お話ししているんです。

ミン・ヒジン

はい、でもとりあえず一度短くやってみます。へへへ。でもとにかくそのため私がこのようなことを、寄付を決定した部分なのですが、これが私が経営者でなければ決定できない判断になるんです。これが実は非常に重要なポイントなんですよ？

そうしたら、このようなことが、そしてNewJeansのイメージや、そしてこれからの私たちの行動、そしてある計画についての本当にその青信号やある種の手掛かりになる可能性もあるんです。そしてこれは大学祭だけで終わるものではないんですよ。

だから私は実はプロデュースと経営がこのように噛み合わなければならないというのは、これは私が非常に極端に、つまり最近の出来事を今その例として挙げてお話ししているんですが、このように何かあの...クリエイティブとそしてお金の領域が実は一緒に噛み合って進んだ時に効率がどの程度極大化されるか、このようなテストをずっとやってみたかったことで。2年で実はこのように最高の成果を出したということは、私はそのテストが成功したケースだと考えているんですよ。そのため実は私たちは既に加速がついていて、この加速がついた状態でこれからこのような形での経営的な効率がより極大化されれば、私は実はどこまで行けるのかそれが本当に気になるんです。

記者さんが話を早く終わってくださいとおっしゃいましたが、私は実はほとんど終わりにかけていた話でしたし。では先ほど質問くださった、いや、ご了承いただいた記者さんから質問を受けましょうか？

エクスポーツ キム・イエナ

いいえ、最後の質問が、なんやかんや...あれこれ...

ミン・ヒジン

最後の...先ほど弁護士の方がされたのでは？はい、すべて終わりました。はい。(水を飲む)

5. [0:35:50] 音盤押し出し、仲間外れ、他のチャプターへ移ろう

AP通信 パク・ジュウォン

はい、こんにちは。米国AP通信のパク・ジュウォンと申します。私はもう少しマクロな観点から一つお伺いしたいと思います。代表が、NewJeansがHYBEからアルバムの音盤押し出しを勧められたと公式に経営陣に問題提起をされたという報道を見ましたが。まずアルバムの音盤押し出しの勧めを受けたのかを一度確認させていただきたいと思います。そして大手事務所で働かれた経験があるだけに、音盤押し出しがK-POP業界の全般的な慣行なのか、海外の読者の方々が非常に気になると思います。ありがとうございます。

ミン・ヒジン

これは私がこのように全般的な慣行だと断言するのは難しいと思います、この場では。ご存知の通り。そしてこの内容は非常に重要で深刻な内容なので、このように記者の方々それぞれ考えが皆違いますよね。もう何か、ある方々はこのようにとても深く聞きたがられ、ある方々は早い答えを望まれ、このようになっているため、今の場でこの答えを今お話しすることになると、私がまた話が長くなってしまうんですよ？これを説明しようとする。そのため今はその本質についての説明をお話しするのは少し難しく、私たちが勧められたのは事実ですし。

そして、HYBEがどのように答えてくださったかという、「あ、ただタバコタイムに通り過ぎる話としてした話だ」とおっしゃったんですよ。でも私の冗談は通り過ぎる話として受け止めないくせに、このように音盤押し出しの勧めは（苦笑）通り過ぎる話だとおっしゃる

なら、これをどのように...誰の話は通り過ぎる話になって、誰の話はそうではないのか、このように考えなければならないのか。ただ私は実はこれも同じ観点から一度考えてみなければならぬと考えているんですよ。これで...はい。

ザ・ベルイ・ジヘ

はい、こんにちは。ザ・ベルのイ・ジヘと申します。今日は本当にお美しくて。

ミン・ヒジン

あ、ありがとうございます... (笑)

ザ・ベルイ・ジヘ

良い結果があったからだと思いますが。その、私がお伺いしたいのは二つありますが、ADORに対する支配力を確保するために方法を模索したところまでは裁判所で認められたと承知しています。実行までは至らなかったものの。そのためここについてどのようにお考えなのかお伺いしたいのと、それからHYBE側に今このように和解を提案されているのでしょうか...

ミン・ヒジン

はい、まあそれは当然です。なぜなら私が争いを起こしたわけではないじゃないですか。つまり私の立場では私が争いを起こしたわけではないんですよ。そして先ほどその裁判所のその判決についてのお話をされましたが、これが非常に矛盾なのが、その...あの...本当に申し訳ありませんが、私が今少し頭が痛くて、その質問をもう一度お願いできますか。その裁判所の先ほど...

ザ・ベルイ・ジヘ

その、経営権を確保しようと...

ミン・ヒジン

あ、はいはいはいはいはいはいはいはいはい。その経営権を確保しようとしたという言葉自体が実は矛盾なんですよ。なぜなら経営権は私にあるんです。それから白騎士になろうが黒騎士になろうが、何かを模索しようが、弁護士の方々が続けておっしゃっていますが、HYBEが決定してくれなければなりません。つまりどのみち私がどんな方法を模索したとしても、最終的な結論はHYBEが下さなければならいんですよ。HYBEが嫌だったら、やらなければいいんです。

だから私の立場からすると、何かというと、実は先ほどその裏切り感という話も、私は私が先に裏切り感を感じたと思うんですよ。つまりHYBEが私に先に信義を破ったと思いました、私は。これから、それなら私がHYBEと妥協するか協議しなければならないような内容が必要じゃないですか。でも子会社に実際どんな力があるのでしょうか？私は20%、いや18%しかないのに。そうしたらHYBEと何を、何で一体これを話し合わなければならないのか。この苦しみから私が抜け出すためには、どんな話を私がHYBEに話をしなければ、そうしたらHYBEが少しでも鼻で笑ってくれるだろうか。これを少しでもあの、恐れて怖がるためには、そうしたら私は何を話さなければならないのか。

私が申しあげましたよね。私がこういった部分に少し門外漢で...そうしたら私たちは何か、これをどうやったら彼らと交渉ができるのか。つまり全く、なぜなら交渉のテーブルにすら上がることができないんですよ。「私たちを苦しめないでください、なぜ私たちにこのように言うんですか」と言えば、「いいえ、私たちは苦しめていませんよ？まあ、私たちは大丈夫ですよ？」とこう言うじゃないですか。

私がなぜ「陰湿ないじめ[*은따]

つまりこれがあまりにも長く続いたので、私はそこで何か信義が破られたと私自身が判断をしていたわけで、これを私たちの間で、このように話をした部分について、このように真剣に「いいえ、音盤押し出しはあの、私が一度話してただけよ」そうしたら私も...私も一度話してただけです。私もあまりにも辛くて深刻だったから。これからこういうことがあり得る部分だったかもしれないのに。

そのため私がHYBEにも聞きたいんです。あ、そんなに心配だったのなら私を呼んで一度聞いてみればいいじゃないですか。どのみち彼らが決定することになるのに。つまりなぜなら、これが問題になれば非常に深刻な問題になってしまうから、これから私はとにかくそう考えているんです。

ザ・ベルイ・ジヘ

あの代表、もう一つだけお伺いしたいのですが。それでは今日お話しされているのは代表として続けて仕事をしたいという意志を株主たちとHYBE側に、このように提案をして表明されている、このように理解すれば良いのでしょうか？

ミン・ヒジン

あの、そうですね、はい。なぜなら私個人の利得を考えるのであれば、実はまあ様々な選択肢があり得るじゃないですか。でもお話ししたように、私は今個人の利得に関心がある人間ではありませんし。とりあえずまあどうなるにせよ、つまりNewJeansと一緒にすることになった、ある一連のこの私のプランをそのままこのように続けて行けたらいいなと思いますし、それが誰にとっても損失ではない。私がやらなくなって組織改編がされて、まあNewJeansが休むことになって、これが一体誰にとって良いことなんでしょうか？誰にとっても良いことではないんですよ。そのためそういった部分を理性的に一度考えてみようとは提案しているんです。

感情的に傷を受けたのは私もたくさん受けましたし、彼らもたくさん受けたでしょう。お互いに受けた状況なのでそれは、わかりません、ただ大人の観点から、ただそういうマインド

で、ただすべて「0」、そう、今までちょっと私のスタイルから見れば、うんざりするほど戦った。だからもう終わり！これから別のチャプターに少し移ろう。つまり皆のためのチャプターに移らなければならないのではないか？これから、それがただ私の考えだということです。

6. [0:42:55] ADORに対する背任、株主総会

SBS シム・ウソプ

こんにちは。SBSのシム・ウソプと申します。これまであったことは、もう、あったことですし、実はまあファンの方々もそうですし、この多くの、もうワールドスターですからファンの方々が気になっているのは、今日の臨時株主総会でどんな雰囲気だったのか気になります。実はこれからCSO、まあCHRO、CFOとこのようにCレベルの方々が全部変わることで、実は代表の哲学やこのようなものを、これからどのような形で、先ほど和解の手を差し伸べたとおっしゃいましたが、それをどれだけ受け入れてくださるのか。

またこれからCレベルの方々が代表に、例えば仕事をうまく助けてくださらない、というのであれば、これから実はまあワールドツアーであるとか、このようなことに実は私たちの考えは、ただ基本的な考えは会社がちゃんと回らないだろうという心配が少しありますので。もしかしてどのようにお考えなのか。

ミン・ヒジン

でも、そうなるとその方々が会社の、ADORの背任になってしまうので、その方々がとても深刻になる可能性があるんですよ。（イ・スギョン：その...）つまりそのような判断は、なぜか私の感じでは、なさらないと思いますし。そして、まあ私たちが株主総会をする時に、

何か外で考えていらっしゃるように目を剥いて、このようにお互いにこうやって、このようなことはしませんよ。（笑）ただ、まあ新しく就任される方々がいらしたわけでもなく、代表として一人がいらっしゃって、ただまあHYBEが考える部分を静かにお話しくださって、私たちも私たちが考える部分を静かに話しましたし、ただいつも表面上は何も波風がないような感じではありますね。

でもこれからどうするかは、まあ正直に...前で「ちゃんとやります」と言ったからと言って上手くやるかどうかは、実際に経験してみないとわからないことじゃないですか。私は元々その表面的な言葉をそれほど信じるタイプではないんですよ。だからそれよりも実際に、あの実際にHYBEがこれからADORとずっとADORを発展させて、NewJeansに対するビジョンがいらっしゃる方々なら、これから私と続けて協議をされるでしょう、このような部分で。なぜ私は冷静に、あのこれがADORの利益でNewJeansの利益なのに。つまりこれからそういった部分について、お互いに話をすると思います。

つまり親会社への義理を守ろうとすれば、時々実はNewJeansやADORに裏切りをしなければならない場合が生じるんですよ。矛盾が生まれるんです。でも先ほども申し上げたように、私はADORの社長であることが私の第一優先順位です。そうするようにと法人分離をしてくれたわけで、そうするようにと実は独立法人として私たちがいるわけなんですよ。そうでなければ、私たちがチームとしてその会社になければなりませんよね。でもそうではないじゃないですか。私たちは独立法人じゃないですか。

そのような部分は十分に私と最初に意思決定をする時に、私の経営権を守ってくれるというHYBEの約束があったわけで、私はその約束を信じて「あ、それなら私がこの中で最大限やってみます」として、また実績でお見せしましたし、このようなピンポンがあったと考えるため。とにかく私が続けて主張し話してきたのは、私は私の第一優先順位は絶対にADORとNewJeansです。ADORとNewJeansの利益が最優先されることが、実は究極的にHYBEにも実績としてつながるため大きな利益になると思いますし、これから、はい。私の基調はそうです。

バイラインネットワーク ソン・アイン

私が先に質問してもよろしいでしょうか？バイラインネットワークのソン・アインと申します。今日のお話をよく聞かせていただきました。先ほど株主総会について言及されましたが、少しHYBE側からお話があったことと、ADOR側で考えられたことがどのようにお話が交わされたのか気になりますし。実は先ほど少し大義的な方案を議論したいとおっしゃいましたが、この方案について少しHYBE側と、昨日から事がありましたから少し焦るでしょうが、お話が交わされたことがあるのか気になります。

ミン・ヒジン

全くありませんね。全くないので私が、私たちがこれから取締役会が早く開かれるとすれば、もう10日とか、このような時に開かれる可能性があるんです。そうすると約一週間しかないじゃないですか。そのため私が今日記者会見を通して話したかったんです実は。なぜならば突然私たちが「HYBE会いましょう」とすると、またおかしく記事が出る可能性もありますし、また誤解が生まれる可能性もありますよね。だから、どのみち誰も見ているので、ただ正直な気持ちを話そう。ただ早くこれを早く整理するのが皆のために良いのではないかとそのためお話ししたかったわけで、HYBEが誤解をされた可能性もありますが、裁判所でも違うと言いましたよね。それならばこれからHYBEでもそれを受け入れなければならない部分があるはずだと私は考えていて、これからそうしたら早く事が進展するのではないかとこの考えに。ただ私はいつも正攻法で、いつもただ正直なんですよ。

そのため、ただまあ株主総会で今日、これから取締役会が変わったから当然ファンの方々も心配で、すべての記者の方々も気になって電話がかかってくるんじゃないですか？そのためこれを一度に片付けようと（笑）実はただこのような記者会見をしたんです。

イ・スミ

今日の記者...今日の株主総会をとてめ気になさっているので、ただ正直に申し上げますと、株主総会は約5分程度、その各議案について特別な討論もあまりありませんでした。賛成する立場なのか反対する立場なのかだけ発言をしまして、HYBEからは第1号議案が「ミン・ヒジン解任の件」ですが、本人は賛成する意見だが裁判所の仮処分決定を尊重して議決権を行

使しないと、このように発言をされまして。残りの取締役お二人の解任の件は、当然賛成して解任されるようにそのようにされたわけで。他の取締役3人が新しく選任される件も特別な意見なくそのように進行されました。

今日の株主総会はHYBEから代表取締役を代理して一人が、弁護士一人がいらっちゃって、そしてHYBEで選任していた監査の方、一人が株主総会の参席権限がありますので、そのためちょうど二名、お二人がいらっちゃって。ADORからは既存の株主の方々、こちら側の株主の方々3名とこのようにいらっしゃいました。そのため株主総会は簡単に終わりましたし、立場表明やそのような対話はありませんでしたし。

そして株主総会の実務上、これから取締役が選任されると、取締役候補者がもし即時就任承諾をすれば、すぐに取締役になるのですが、まだ私たちが就任承諾手続きはHYBE側から連絡を受けたものがないので。そういう状況です。

マネートゥデイ放送 ナ・ウンス

はい、マネートゥデイ放送のナ・ウンスと申します。弁護士の方々にお伺いしたいのですが、今回選任された社内取締役の方々がミン代表の代表取締役を可能にするような措置を取ると同時に、取締役会で（もう一人の）代表を選任すれば、これから共同代表として進める案も排除できないと思います。そのためHYBEの定款を見ると、この共同代表関連の定款がありまして、ADOR定款もHYBEと似ているのではないかと思います。もしHYBEがこのような共同代表体制で行くとおっしゃった場合、これを提案を受け入れるのか、あるいはまあ他の計画があるのか気になります。

イ・スギョン

まだ具体的な計画はありません。

イ・スミ

法理的にその共同代表のことをお話し申し上げますと、共同代表取締役と各自代表取締役が複数いるのは、法令上の概念が少し違います。共同代表取締役は代表権が制限されるんで

す。一緒に共同でしか印鑑が押せないため代表行為になりますから。代表取締役が複数いるのは、各自が単独で代表権を行使することができます。ADOR定款にあるのは共同代表取締役についてのものではなく、代表取締役を2名以上選任することができるというのが定款にはありますが。私たちが共同代表取締役の部分は明らかに株主間契約違反だと私たちは見ていますし。

ただ、この各自代表取締役の部分も法理的に判断を、債権的契約に関して判断をしなければならないのですが、ここでは「代表取締役はミン・ヒジンとする」という部分が明確に定められていて、「他の取締役を選任する」とこのようになっているため、各自代表取締役を追加で選任できるかは少しブランクですが、株主間契約の全体的な解釈に照らしてみると違反になるのではないかと考えられます。

YTNスター オ・ジウォン

はい、こんにちは。私YTNスターのオ・ジウォンですが。昨日と今日、代表留任が決まりまして、NewJeansメンバーたちの反応が気になりますし。そして、いずれにしてもHYBEと良い関係、そしてこれから少し建設的な計画を一緒に話し合ってみようという趣旨でずっとお話してくださっていますが...

この紛争の中で実は起きた他のどんな職員たちに対する監査手続きの問題であるとか様々なことをADOR側でも問題提起をされたため、その問題については少しどのように埋めて進まれるおつもりなのか、あるいはその問題はどのような方向で今解決されているのか気になりますし。同じような文脈で株主間契約の再契約協議過程でこのようなことが発生したという話がありますが、その再契約過程はどのように進んでいるのかも気になります。

ミン・ヒジン

私はこれが私が今断言することはできませんが、つまり先ほども申し上げたように信義というのは双方の合意なんですよ？つまりこれから、あの、交渉は相手がどのように出てくるかによって変わるものじゃないですか。つまりHYBEも私の意図を誤解する可能性があるので私がただ正直に話をするわけで、実は私がこのように話したのにHYBEがどのような形で出

てくるかによって非常に変わるでしょうし、そして私は株主間契約がどのように修正されようと実はそれほど大きな問題はないんです。ただ一つ、競業禁止。私が言っていたその毒素条項？その毒素条項だけなくなれば実はまあ、私が諦めることができる部分があれば私は諦めてでも妥協することができるため、私にとってそれは全く重要ではない問題なわけで。

あの...つまりこれが相手がどのように出てくるかによって非常にこれから違う内容なので、それは私がどのように説明するのは難しい内容のようすし。そして、まあNewJeansメンバーたちは（笑）まあ昨日私たちまあ、みんな大はしゃぎでしたよ。突然これが...まあ、スケジュールがなかったら私たち全員会っていたでしょうし。でもこれからまあ私にとってはとても、まあ、でもこの話はそれほど重要ではないようなので、はい。他の、他の質問を...

進行者

私たちがこれから質問を二つだけ受けて終わりにしたいと思います。

連合ニュースTV ソ・ヒョンソク

こんにちは。連合ニュースTVのソ・ヒョンソクと申します。あの、今回の論争のために傷を受けた他のアイドルグループもいると思います。BTSの方々も特定の団体と関連があるという疑惑が浮上しましたし、また、ILLITやLE SSERAFIMも、このように傷を受けた部分があると思うのですが、その方々に何かお話ししたいことがあれば気になります。

ミン・ヒジン

私は考えに、NewJeansも傷を受けましたし、これは皆が全員傷を受けた出来事だと思うんですよ。つまり誰かだけではなく...前にも申し上げましたが私も人間なんですよ？（笑）そのため私たちの構成員の中で、職員の中である職員が私にとっても印象的な話をしてくれたのですが、「人々はヒジンさんを人間ではないと思っているようです」とこのように話をしたりもしましたが、

あ、私も人間で、また誰かたちも皆人間で、メンバーたちも皆人間なので、私は誰かを特定して実はまあ、その方々にしたいとか、このような話よりは、これが実は記者の方々もそう

ですし、すべての方々が皆に傷を与えないようにするには、この言及をやめなければなりませんよ、これから。ただ話をしなければいいんですよ？でもずっと引っ張り出しながら傷を与えるかどうかを言及すること自体が傷なんです。

そのためこれから言及を、その方々のことを考えるなら言及をしないでいただきたいですし、何でも、そしてもう一つは傷を癒すために、つまり傷を洗い流すために妥協が必要だということです。対話をして、これをどのように進めていかなければならないのかについての新しい模索案が必要なため、実はこのようなお話をすることになったんですし。

7. [0:55:00] 私たちを放っておいて、ドキュメンタリーの提案、仕事の時は拗ねないで

MBC ムン・ダヨン

代表、こんにちは。私MBCのムン・ダヨンと申します。HYBEが背任容疑で告発した状態で取り下げない限り捜査は続くと思いますが、和解提案を今日されましたよね。そのため、いつまで待ってみるか、このような期限はありますか？

ミン・ヒジン

期限が、期限を設ける理由がないのが、ただ私は万が一のことに備えているんです今。その方々が、まあ取締役会を開いて私を解任しなければ問題ないですよ。でもこれからもしかしたらその可能性もありますよね。そうしたらあえてそうしなければならないのか、これから率直に話をすれば、一緒に仕事をするのが大変なのは私も正直しんどいですよ。（笑）誰が良いでしょうか。

でもこれが少し大人の気持ちで考えてみると、気分が悪いからって「あ、全部辞めます！」とこうなってしまうと、これからすべてのことがすべて壊れてしまうことが多いじゃないですか。だから私も本当に大変で腹が立って、イライラして苦しいけれど、ただこれが、長期的に考えた時に、そして皆にとっても有利な方向は何かを考えると、痛くても我慢して進まなければならないのではないか、という姿勢をお話ししたわけで、私が期限を言うのは...

そして私が相手の意見を知らないじゃないですか、まだ？もし私がこのように話したのに相手があまりにも嫌だとしたら、まあどうしようもないじゃないですか。そのため私は実は少し大義を考えるのが正しいのではないかという考えをずっとしているんです。なぜなら本当に傷ついたと考えると、私個人なんですよ本当に。（苦笑）私、ENTPです。是非善悪を一つ一つすべて明らかにしたいし、ここでそれだけずっと話したいんですよ、掲げて？でもそれをでき、しない、しないつもり。それはしないつもりだから、あの...これからみんなのための方向で少し考えてみようということです。

(記者席から何か声が上がる)

ミン・ヒジン

私は正直に、もう少し受け付けることもできますよ。へへ（笑）いいえ、というのは、お帰りになる方はお帰りになっても結構ですし、いいえ、嫌な方は当然お帰りになっても...

インベストチョスン イ・サンウン

あ、はい、こんにち。インベストチョスンのイ・サンウンと申しますが。（はい）今HYBE側では実は続けてパク・ジウォンCEOや報道資料を通じてのみ立場を表明していますので、もしかして前回の記者会見以降や最近にパン・シヒョク議長と対面や対話をされたことがあるのか気になりますし。

ミン・ヒジン

ありません。

インベストチョスン イ・サンウン

全く何の反応もないのですか？

ミン・ヒジン

私もなかったので当然ないでしょう？

インベストチョスン イ・サンウン

そして、それならHYBEの株主の方々にも、もしかして一言おっしゃれることがありましたら？

ミン・ヒジン

HYBE株主たち？HYBE株主たち？私は実は私が今日話したことがHYBEの株主の方々にもすべて伝えなければならない話だと思うんですよ。私は実は株主が別にいるとは考えていません。誰でも一株でも買えば株主になるじゃないですか。つまり株主は私はすなわち大衆だと思うんですよ。でももちろん金銭が関わっているため、とても切実な問題になりますよね？

私は正直に株主の方々のことを考えてもこのような話をしているんです。ただ誰かにこのような不確実性？リスクを続けて持たせることが正しいのか、これが？これがずっと私も、これがなぜこうならなければならないのか？という疑問が湧くので、ただ私たちは私たちがなりに私たちの独立性を保障してくれれば私たちは静かに、私たちをただ、いじらない（笑）私たちはただ静かに私たちの仕事をして利益を出すでしょうし、そうしたらその利益が結局は株主還元として戻っていくじゃないですか。これからそのような部分について、その点のために実は私の経営、ある哲学までと言うと大げさすぎて、ただ私の思考？マインド？をこのようなことを、そのため少し説明させていただきたかったんです。

TVチョスン パク・ソヨン

はい、こんにちは。私はTVチョスンのパク・ソヨンと申しますが。その前回の会見の時...ここ、ここにいます。（ミン・ヒジンが記者を探して視線を向けながら「ああ、はい」と答える）前回の会見の時、NewJeansへの愛情と、そして今はまた、これから一緒に作っていか

なければならないビジョンのようなことをお話しになって、非常に世論が大きく動いたと思いましたが。その後にNewJeansメンバーについての陰口のように見えるカカオトークが公開されて、少し騒がしかったじゃないですか。そのため本人が、代表がおっしゃっていたことと少し相反するように見える側面が確かにまたあったと思うんですよ。そのためその後にNewJeansメンバーたちと対話を交わされたことがあるのか、何か立場のようなものを少しお話しただけると良いと思います。

ミン・ヒジン

実はそれも説明しようとするとても長くなります。そして私はその内容も覚えていない... 3年前のカカオトーク覚えていますか？私は実は3年前のカカオトークを開いて、このような話をガンガンして、することが、私はこれが何の...つまり正直に、その出てきた内容を見ると、このような話をしていたかな？まあ少し、えっ？「すごい」これも私が、私はしたのかも記憶もよく覚えていないし、これが実はこの争点でもないし、無価値なことなんですよ。

つまりNewJeansメンバーたちが何かその内容を見て私に連絡をしたというようなことではないんです。私があまりにも傷ついているのを知っているから連絡をしてきたことで、私がNewJeansメンバーたちに言及したのは何か世論を動かすためではなかったんです。ただその記者会見をもう一度見ていただければお分かりになると思いますが、その記者会見で出てこざるを得なかった状況の話であって、その話の中でただ...ただ私も私に積もり積もったものがあるから。それを何か私が何かアカデミー賞、何か賞をもらう何か女優でも、何か俳優でもないのに、私がどうしてそんな演技をして、まあ私が何か服をそのように着たとか、このような...どうしてそのような想像をするのか、私は正直にあまりにも残酷だと思うんですよ？

私が話しましたよね。その3日間は服も着替えられなくて、本当に臭っていた服なんです。ああいうふうにならぬ私が、いわれのない中傷 [*matador : 相手を中傷する虚偽情報という意味の韓国政治・メディア用語] を受けている状況で、わざわざ服を着替えて化粧までして……

それはどう考えてもサイコでしょう。私は正気ではいられなかったし、本当に正常な精神状態ではないまま出てきたんですから。

このような話をするのは、私は争点とも合わないし、またメンバーたちを引き込んで...私が先ほども申しあげましたよね。ただメンバーたちやこのようなアーティストたちを保護してあげるためには、ただ言及をしないようにしなければなりません。気になっても大人たちが少し我慢しなければならないんですよ。そうしなければ、なぜなら争点ではないから。それが私は実は保護だと考えていて。とにかくそうです。

週刊東亜 ユン・チェウォン

こんにちは。週刊東亜の記者ユン・チェウォンと申しますが。質問が二つあります。一つ目は代表がそのエンター業界は人の心を持って動く問題だとおっしゃいましたが、その新しい取締役とこれからどのようにコミュニケーションを取る計画なのか気になりますし、会ったりする予定があるのか気になります。そして二つ目は隣にいらっしゃるイ弁護士が個人SNSで「正直に勝つと思っていた」とおっしゃったことがあります。代表もその場に一緒にいらっしゃって、また「シンデレラが勝つ」という発言で話題にもなりましたが、代表も仮処分が認容されると期待されていたのか、自信があったのか気になります。

ミン・ヒジン

私はとても自信がありましたよ。私に罪がないのに。（笑）私が一番よく知っているじゃないですか。私が何か誰かに会ったこともないし、そのような話をしたこともないのに。私が申しあげましたよね。そのDunamuやNAVERも本当に完全にプライベートな場でしたし、いいえ...あまりにも...これが何の出来事なのか？つまりこれが、このように見ていらっしゃる方々にはどう思われるかわかりませんが、いつも私、副代表とこのように話すと「わあ、これは何という時代の茶番劇だ。これは何...これは何の出来事なのか？」

これは私に何かNetflixのドキュメンタリー撮影の提案が昔からすごくあったんですよ。でも私は私がまだ何も成し遂げていないのに何のドキュメンタリーだ。そういうの、私はそういう提案が必ずしもNetflixだけではなく、このように様々なところからこれから提案をたくさ

んされていたわけです。でもそれを断りました、全部。でもこれはやるべきかな？この事件は（笑）この事件だけを持って何か話をしなければならないかと思うほど、これが何かお互いの観点があまりにも違って、これがこのようになる出来事だったのか？という思いが浮かぶほど。

だから私にとってはこれが少し面白い出来事ではあるんですよ？これが何か、誰かの立場からすると、なぜそれが何か、あなたにとっては冗談で面白い出来事なの？いいえ、私がカカオトークをしましたよ、私が...私がした人として...私がそうだから、私にとっては少しそういう立場で。

私が、そして年を取って行ってこれが正確にその前の質問がまた思い出せないんですよ。何でしたっけ？

週刊東亜 ユン・チェウォン

一つ目の質問はこれから...

ミン・ヒジン

あ、私はその方々とみんな知り合いですよ、とても。だから私が先ほども言いましたよね。パンチを交わしましたよね。だから（笑）ただまあ一発ずつ殴ったからまあ良いと考えて、まあこのように。あ、まあ、組織で喧嘩したことないんですか？このように私は実は部下の職員たちとまあ話をしていて、私がいつも言い聞かせるのが「ねえ、拗ねないで。（笑）仕事の時は拗ねないようにしよう。」これは私に文句を言われたとしても私が。

まあ例えば後々までこだわって続けてその子に対して、徹底してその子の挨拶も受けない。その友達の挨拶も受けずに、誰かが話す時にわざと答えをしない。ドアをボタンと閉めて勢いよく出て行く。そうすると仕事があまりにも大変じゃないですか。とても辛くなって。私それ本当に嫌いなんですよ。

だからそれが何か恋人同士でもそういうのが「うわ、幼稚」こんな感じなのに、何の会社で仕事をするために会った人たちがそのように行動するのは私は少し違うと考えていて、ただ線を引いて仕事をしなければならない時は仕事をしなければならないし、ただまあ論理と理性で話をしているうちに妥協点が見つかるのではないかな。こもしわざわざ「あいつをどうにか懲らしめてやろう」という気持ちを持たないのであれば。

私でも先ほど言いましたよね。そのような気持ちを持つことが背任なんです。これから行動に移すことが。実際にADORの不利益になれば、いずれにせよ最終決定権者は私じゃないですか。そうしたら私が「あ、これはADORに利益にならないのですが？」と話をして理由を説明した時に、相手側でも受け入れれば、これから妥協ができるわけで、もし相手の主張がとても道理がある。「あ、私が考えていなかった部分だね。」そうしたら私もまたそれを受け入れて話をすることもできるし。

でもそれをわざと長引かせて、もし仕事を...なぜならば非常にタイトで早くしなければならない仕事が多いわけですよ、私たちの業界の特性上。でも決断がそのためにわざと引き延ばされる？そうしたら私はそれも一種の背任の...それももう謀議の段階だとまた考えるんですよ。（笑）

そうしたらこれから冗談めかして話せるでしょう、私も。「あ、これ背任謀議今...（笑）あ、今ちょっと警告？あ、今これ判断が遅れてはいけません。決定早くしなければなりません。」とただ話をして、またほぐすこともできるのではないかなと思ったりもして。そしてまあその方々も私たちをうまくいかにようにして一体何が良いんですか？そういう観点であれば私はまあうまくいくのではないかな？とまたただ...

あ、わかりません。またポジティブに考え、とても悲観的な人間なのに私が、一方ではまたあまりにも悲観で生きると本当に辛いじゃないですか。まあそのようにも考えてみなければいけないのではないかな。はい、考えたりもします。

またまたございますか？もし終わりを望まれるなら全部終わりにしましょうと言っていた
いても結構です。

8. [1:06:35] 毒素条項、インハウスの競争

ブロター ユン・サンウン

はい、ブロターのユン・サンウンと申します。先ほど競争禁止の毒素条項についてお話し
しましたが、最初に株主間契約を結ぶ時に、それが毒素条項だと認識されていたか？

ミン・ヒジン

申し訳ありません、もう一度お願いします。

ブロター ユン・サンウン

競争禁止の毒素条項について言及されましたが、最初に株主間契約を結ぶ時に、それが毒素
条項だと認識されていたのか...

ミン・ヒジン

知らなかったから、私が1年経って分かったんです。

ブロター ユン・サンウン

それでは、それは今から株主間の再契約を進めていらっしゃるということで...

ミン・ヒジン

まだホールド状態です。なぜならそれを議論している途中で、実は少し盗作疑惑について私が問題提起をすることになったんです。これが何か計画的に何のため、何のためにというようなことではありません。なぜなら私が、その...そのチームが出てくる...なぜならその事前準備過程を私は知らなかったのです。今代表的に出てきたのが、たぶん3月6日のティーザーでしたか？何かそれを見て私が。その前にももちろん少し何か、その韓服グラビアなどを見た時に「あれ？」というような感じが少しはありましたが、その時は問題提起をするほど、する...「あ、これを今することが正しいのか？」少し私もこれがとても迷っていたんです。

つまりそのような私も悩みの時間があったため、これが事が進んでいくうちにどうしてそうなったのか、何の...でもなぜまた、そのなぜアイドルの世界観を組み立てるのを見ていると、突然全く考えられないほど「え？どうしてこのように組み合わせるの？」というほど、すごくピッタリと合う時があるんですよ（笑）ある時は。ただまあ人生というのは少しそのような部分を含んでいるようでもあるので。

あの、実は、この過程の中であれこれしているうちに、こうして全部生まれた出来事ではありましてし、私が最初にその契約書...実は契約書の検討期間が非常に短かったんです。そうせざるを得ない状況でしたし、私はそうせざるを得ない状況だったということを、またHYBEの立場も理解はしていましたし。そして申し上げたように、その時私たちはとても仲が良い状況だったので。

「なぜバカのように疑うことができなかったのか」と言えば、いいえ...正直に言って友達を疑うことが私はとても変だと考えたりもしましたし、これがまた「友達」と表現すると、まあ、あの人は私のことを友達だと思っていたいなかったかもしれないじゃないですかその時。でも私も「友達」というよりは、ただこのように少し簡単な表現をしているんですよ、ただ。ただある程度そこそこまあ知っている、よく知っている知人だと考えれば、それを急に、その言葉を大体信じるじゃないですか、その前の過程があるのに。

それを突然深刻な顔をしながら見て、そのようなコンテキストではなかったんです、その状況は。でも偶然私が知らずに通り過ぎて1年経ってその契約書をもう一度見る機会が生じ

て、1年経って偶然見えて「ん？これは何だろう？」とただこのように見つけることになったんです。

そして私は最初にこれが早く解決、これになるだろうと思いました。この是正がなされるだろうと思いました。なぜならこの部分はHYBEの立場からも困る可能性がある部分なので十分に。早く是正される部分だと思っていたのですが、そこで何か問題が生じたわけです。

プロター ユン・サンウン

追加でまたありますが。そして先ほどお話しされる時に、ADOR、子会社ADORの代表として経営活動をしていると親会社であるHYBEと少し矛盾することが時々生じることがあるとおっしゃいましたが、この矛盾が具体的にどのような状況をおっしゃっているのでしょうか？

ミン・ヒジン

わあ！私がとても言いたかった話なんですけど、質問していただいて本当にありがとうございます。（笑）つまりこれは、なぜなら、一般的には少し理解が難しい部分かもしれませんが、この利害相反というのが。例えばHYBEには多くの事業部門がありますよね。なぜならこのような事業部門の売上を連結で全部計上できるので。そうすると全体の売上が少し大きくなる可能性もあって。そうしているうちに、その持っているある事業の系列会社たちがインハウスで配置されている状況になるのですが、

実は事業という領域は実は競争力が少し重要なんです。つまり、なぜなら外に出てフリーランスで仕事をしていると、生存のために自分の競争力が非常に高まるじゃないですか。でも中に、インハウスにいる組織は少し、それが少し鈍化する可能性があるという懸念があります。なぜなら仕事が続けて入ってくるから。私たちの会社だけでなくHYBEだけでなく、他の会社も同じ話です。ここからすでに組織の利害相反が生じるんですよ。

でも私が望む方向は「できるだけ会社内の系列会社を利用する」が一番目です。でも私が満足できる業務のその難易度やレベルがあり得るじゃないですか。私が追求する。でもその能

力に達していないという判断が下されれば、これが非独占契約なので、私が外部の他の業者とも仕事ができるわけです。

でもこのように仕事をする時に正直に少し気を遣うこともあり、気を遣わせるわけです。

（笑）そしてそうしながら組織間に少し、利害相反のようなトラブルが生じます。「なぜ私たちに仕事をくれないの？」そうすると今度は露骨に「仕事ができない！」とこう言うとまた感情を害して、このような...これが多いの出来事がありますよね。そのような出来事を私は、実はこの子会社の立場では、実はADORの利益を最善に極大化するためには、競争を続けて付けたいんです。つまり中のインハウスチームと外部のインハウスチームと何がより良いのか競争を続けて付けて、そしてそこでより良いもの、そしてより少ない金額で選択することになれば当然ADOR立場では良いじゃないですか。

実はこのようにして少し大変な仕事になったのが、私たちのグッズを作るLINE FRIENDSとの協業になったケースなんです。実はLINE FRIENDSはグッズについて非常にノウハウがあり、そして私のあるデザイン的なビジョンや、そのようなコンセンサスがあります。少し理解度、そのチームとのある理解度があって私が仕事もしやすいし。そこに加えてグッズの価格も彼らはそのノウハウが元々あったから価格もずっと下げることができたんです。

そのため外部業者とこのようにまあ仕事をする部分についての例を挙げると少しそのようなトラブルがありましたが、私の立場からはこれを短期で見た時には、ある意味親会社から「私たちの連結売上が少し抜ける部分があるんじゃない？私たちの損失じゃない？」と言いますが、私たちのグッズ売上が量的に、つまり質的にずっと高い売上を上げることになれば、それ結局はまたHYBEに全部計上される売上になるんです。

つまりこれが...あの、その長短期も、私はその期間がとても長くないと見ています。つまり効率的で合理的な選択と方向で、究極的には結局は全部HYBEの売上として計上される仕事になるため、何がよりそのコンテンツの質を上げることができて、そして究極的にその組織の中でもこれが自律競争、ある、また、少し事故がまた起こりうるんです。これからそのような部分を少し健全に指摘できるのではないかと、という部分でこのようなことがこれから少

し活性化がより合理的になれば良いのですが。これが少し…これがむきになって反発して拗ねたり、「なぜ私たちにくれなかった！」まあこのようなことよりも、少し長期的観点から、そしてより本質的観点から何がより改善があるのか。

なぜならすべての事には一長一短というものがあります。何かを得れば何かを捨てなければならず、このようなことがすべて選択の問題になるんです。そうすると経営者として最も重要なことは何かというと、究極的な目標を考えながら短期でも損をしない、このような決定をしなければならない判断を早くしなければならない仕事が生じるわけです。これからそのような部分についてお互いの利害関係が少し違うためトラブルが生じる部分があった、このように表現できると思います。

9. [1:14:30] 社長と親たちの関係

BBC ク・ユナ

はい、こんにちは。BBCのク・ユナと申します。一つ質問させていただきたいのですが。まずHYBEとNewJeansあるいはその親御さんたち、保護者の方々との対話が続けて行われているのか気になりますし、今回の事態においてアーティストが会社内でどの程度声を上げることができる状況なのか気になります。

ミン・ヒジン

これもとても矛盾した話なのですが。アーティストが声を大きく上げると、アーティストを商売道具にする、あるいはアーティストを利用するというこの重荷が被せられるため、本人たちが話したくても話すことができない状況になって、ある時は幼いと思われて、ある時

は幼いから保護されなければならないくて...これも都合よく解釈されるケースが本当に多いんです。

そのためこれを私の立場から何がこうだあだとあれこれ話すことはできませんし、ただ私が一ヶ月の間実は少し耐えることができたのは、私の真心で先ほどその、私を不憫に思ってくださいった方々、あるいは私を信じてくださった方々、あるいは私には好感がないけれどもそれでも「この子の言葉が間違っているようには見えない」と考えてくださった方々のためと、そして私たちのBUNNIESの方々、そして実はお母様方、私たちのメンバーたちのおかげで耐えることができましたし...

お母様方が私が何か変な極端な行動を取るのではないかと心配で、毎日電話をして私をチェックしてくださったんです。お元気ですかと、お食事はされましたかと。(声が詰まる)そのため私たちが昨日も、お互い大泣きして、ガンガン大騒ぎになっていたんです。これから私が勝ったと言うから...つまりまあ当然それは話がある部分ですし。

そして正直に言えば、この芸能エンターテインメント会社たちの組織間に今や私や...これが今、私たちの親御さんたちのような関係がないんです。なぜならこれがある程度、会社と親御さんたちがこのようにすべて線を引いて過ごすんです。そのため契約する時に会ったり、まあ会計的に処理する時に会ったり、会社とこのようにするわけです。でも私は以前の会社で長くいる間に、あ、私が組織を作って会社をするならこのようにしてはいけない。このように...なぜならお互いの誤解があまりにも多く積み重なる。

なぜなら若い友達たちを間に置いてする仕事なので、あの、このように親御さんたちと率直に話をしないと、あの...このように話をすることが、このような経営的な判断やスケジュールについての判断、子供たちについてのビジョンを話す時も、これが正しい判断をすることができないと考えたため、私は最初から親御さんたちに非常にただオープンにすべて話をしましたし、とても些細なことで1,2時間ずつじっくり子供たちのどこか痛いことや、子供たちがどんな決定をしなければならないのにこれをどう決めようかということ、このようなことを本当に最初から電話で1,2時間かけて話し合っていました。

そのため親密にならないはずがないですし、お互いの家庭事情をすべて知らざるを得ないですし、私はメンバーたちだけでなくメンバーたちの弟、姉、兄たちとも非常に仲が良いんです。つまりそのような関係が形成されるしかない状況でしたし、私はそのためにも...これからなぜならメンバーたちが若いだけ誤解する可能性がある状況があまりにも多いのに、私が誤解されたくもないし。私が良くしているのに、なぜ誤解されなければならないのか。

私が言いましたよね。不当なことは我慢できない性格だと。親御さんたちにも私がただ私はすべて率直に、もしメンバーに問題があれば「これはメンバーが間違ったことだ」あるいは「これはメンバーが直さなければならない」あるいは「これはメンバーがとても良くやった」お母様も、でも会社では分からないじゃないですか。なぜなら、子供たちが学校に行けば学校での行動とまた家での行動がまた違うんですよ。（笑）同じです。これが何か、これが何かマネキンじゃないですから。

そうすると実は学校の先生と...私がまあ何か先生に憑依されてまあ時々はお・ウンヨン先生のようにもしたり[*韓国で著名な小児・思春期精神科医]、時々はお母さんのようにもしたり。時々はお母さんたちにもこう言うんです。お母さんたちが私にお願いする時もあります。「このようなこと、私は話せないから代表が言ってください」あ、お母様、私は継母ですよ私は。（笑）これは継母が話すと子供たちが誤解するって。これは実母が話さなければならない。私たち同士ではそのような話をまたするんです。

そのためこれはおそらくHYBEの立場からは私たちの関係を全く知らないためにも誤解する可能性があったし、他の会社からおそらく何かあのような社長-親の関係があるの？というのがあるって誤解したかもしれないし、ただ多くのことが誤解された可能性もあります。なぜなら私たちは話をあまりにもたくさんしたため。電話をあまりにも頻繁にして普段から。ただ、私が考えるアイドル事業の特徴、そしてそのノウハウ、つまりこのような仕事を上手くするにはどうすればいいのかについての私の悩みが多かったはずです。それを解決していく過程でのある解決策だったんです。親御さんたちと率直に話をする事。

このような部分があったため、私は実は私たちの売上が非常に良かったのもあると思います。なぜなら私がする経営的な判断についての親御さんたちの意思決定がとても重要なんです。一方では。なぜなら私たちがコンサートをいつやるのか、私たちにどんな計画があるのか、子供たちのコンディションがどうだから私たちがどのように進んでいかなければならないのか、これを私一人で判断するのは実は非常に難しいんです。つまりそのような内容を少し聞きながら、私がとてもそれをまたどのように現実的に消化しなければならないか。このような部分を一緒に悩みながらやってきた時間が実は効率として。

もちろんその親御さんたちが私にそのように言います。「代表、お忙しいのに私たちとどうしてこのように1,2時間も話すんですか」このように言われましたが...でもそれが忙しくてできないわけではなく、それは私の仕事だと思うんです。社長として本来やるべき役割であって、なぜならまたそれを他の人たちがすると、決定権者ではない人たちが話すと誤解される可能性もあるんです。だから私はただその時その時に問題を解決しようという主義なので、実はそれが後で起こりうる問題を今1,2時間で防ぐ部分だと考えたため、そのような判断をしてきたわけで、とにかくまあ、その、そうです。そんな関係なんです、ただ。（笑）

10. [1:20:35] 独立性、NewJeansとのビジョン、Hurt M/V

連合ニュース イ・テス

あ、こんにちは。私、連合ニュースのイ・テスと申しますが。（はい）はい、その二つの質問、二つの質問させていただきます。その一つは、つまり先ほどおっしゃった、その独立性を強調された部分で、結局は今回もその時も問題提起されたのが法務や広報や海外マーケティングなど、これからそのHYBEのシェアド・ファンクションがありますよね。その部分

について少し独立性を強調されているようですが、特にその中で少し独立性を持っていきたい部分があるのか、それが気になりますし。もう一つは、これからこのすべてのプランの最も重要な原則としてNewJeansメンバーたちと代表が持っているビジョンをおっしゃいましたが、具体的ではなくても、少しそのようなビジョンが何なのか説明していただければ幸いです。

ミン・ヒジン

あの、まずそのシェアド・ファンクションは実は...これが組織で投資を受けて仕事をしていると、これから妥協しなければならない部分が当然ありますよね。すべてを全部私の思い通りにすることはできないんですよ。これからそういった部分において妥協ができるだろうという部分は妥協できるのですが、私と少し価値が合わない部分があり得るんです。これからそういった部分において了解があれば実は一緒に進むことができるわけで、それがなければ独立性をより話さざるを得ないのですが、これが組織ごとに特徴が違うんですよ。そしてその組織の中のヘッドごとに、またつまりトップの何かスタイルごとにも違いますし、担当者のスタイルごとにも違います。

そのため私が、まあどの組織は必ず独立したほうが良くて、どれはどうだと言うのは少し難しいです。なぜなら、この話も、その組織の誰と話すかによって話が少し変わる可能性があるため。そして私が申し上げたように、今は私がいずれにせよ妥協の意志を持って話をしているため、あえて批判をしながら、しなければならない状況ではないじゃないですか。なぜなら、いずれにせよ成功しようが失敗しようが *[*Original: 粥になろうか飯になろうか]*、とにかく一緒にやっていかなければならない状況になるので。そのため今の立場では、まあそれを是非を分けて「何は独立したいし、何はどうだ」と言いたくはないんですし。

なぜならば、今の問題も解決しなければならないある段階があると思います。一度にすべて縫い合わせたとしても、臓器が深刻に損なわれているのに、それを手術をせずにただお腹だけ縫い合わせたからといって、それが解決される問題ではないじゃないですか。その中の一つ一つ順序を、どこから何を直していかなければならないのかを、これから考えていかなければ

ればならない段階だと考えていて、それがおそらくHYBEの組織刷新のためにも私は良いと思います。

これからこのような部分。なぜならば私のように問題提起をする人がいなければならない、また組織も変わるじゃないですか。でもこれから問題提起をすることを、あまりにも憎たらしい！とだけ見てしまうと、これからその組織は実は他の部分でとても大変になるんですよ。そのためこれから、その部分についての考えは私はそうで、そして次は何でしたっけ？

連合ニュース イ・テス

ビジョンです。

ミン・ヒジン

あ、ビジョン。あ...NewJeansと私のビジョンは、ただ幸せに生きようです。つまりこの子たちが、本当に正直な気持ちで「幸せに生きよう」です。つまりなぜなら、この子たちが何も分からないまま、まだ幼い時に才能は本当にたくさんあって、これをどのように発散すればいいのかはわからないけれど、芸能人になりたいくて、でもアーティストが何という概念なのかも実は良くわからなくて、でも大きな会社だと言って、上手な人たちがすると言うから、オーディションを受けて、ただ入ってきたわけじゃないですか実は。このシステムがどのように回っているのかも知らなかった子たちです。

記者の方々も実は良くご存知ないじゃないですか。エンターテインメントのシステムがどのように回っているのか。そして会社ごとにもすべて違います。そしてHYBE内のレーベルごとにもすべて違って...このすべて違うことを、この小さな子たちが一体どうやって知って入ってきたというんでしょうか。でも、そうしたら実は一番重要なのは、この子たちをどのように教えてあげて、どのように導いてあげて、この子たちをどんな人間に育ててあげるか。実はこれがとても重要なんですよ。

でも私は私たちのメンバーたちにもいつも話していますが...この契約期間の間、私が話しましたよね。私と勉強することだと。これから私が先生で、私が良い教授たちをたくさん抱え

ています。そうしたらその時々で違う教授たちを、どんどんつけてあげながら、この子たちにこれから特別な個別指導をどんどんしてあげるんです。そのため7年の間、次にあなたたちが食べて生きていける仕事を...その勉強をしなさい。いつまで私と一緒にいるの？いつまでも誰かの下にいることはできないじゃないですか。みんな頭が大きくなれば自分のことをしたくなるんですよ。そうしたらその時、自由な選択ができるように。

なぜ良い親になろうとすれば、今すぐにこのようにしてあげることではなく、この子が後で自立して食べていける道を、つまり一人で食べていける教育、練習をさせなければならないんですよ。そのため外に出て狩りをして、外に出て食べて生きていけることを練習させなければならない。それではなく、お母さんがずっと食べさせてあげて、していると、後でお母さんがいなくなったら、この子はどうやって生きていくの。そのためだから親たちがその教育をする時に、その指針をととても重要に考えるじゃないですか。

そのため私もそう考えています。この子たちが格好いいアーティストになるためには。そして、あるいは7年働いて本当にうんざりして結婚したくなる可能性もありますよね。（笑）あるいは留学に行きたくなる可能性もあるし。でもそれを誰が止められるでしょう、一体。そうしたら、このようにするだけ一生懸命若い時に全部やったのなら、その後はあなたたちが望む人生を生きてくれたらいいなと。それが私が見た時に、長期的にあなたたちのためになる道でしょう。

それをずっと、まあ何か会社の利益のためにこの子たちをずっとつかまえて再契約をずっとして...私はそれが少し弊害だと思っていたんですよ。なぜならばこれから、またその次に他のチームも出てくるし、まあまた、また他の市場がまたどう変わるかもわからないじゃないですか。でもこれをずっと...

つまりこれを見方によっては、ビジョンがととても少しK-POPシーンになかったビジョンではありますよね、私が。そのためまたメンバーたちが私のビジョンをととても興味深く面白く、「あ、とても良いです！」と聞いた可能性もあります。親御さんたちもそうですし。ただ私は実はK-POPシーンが何か固着化されるのが嫌だったんですよ。ただ何かうまくいけば、す

べてがすべてそのスタイルをしなければならないし、私はそれが面白くないんです。ただ私たちのスタイルが人気があれば他のスタイルが人気がある可能性もあって、ただこうなったり、ああなったり、こうなったり、ああなったりしなければ、私たちも食べていけないんですよ。私たちのスタイルばかり多くなれば、私たちも食べていくのが大変になります。

つまりこれがそこそこ食べていける暮らしになったら、他の人たちも少し食べていけるように少し放っておくこともして、このように自律権がすべて保障されて、彼らも「わあ、彼らもさらに良いじゃない」このような考えも持たせて、そういうのが面白くなるわけで。

つまりそのような文脈で考えた時に、私たちがお金を上手く稼ぎながらこのようなことを一度やってみれば、私たちが良いビジネスロールモデルになる可能性もあると考えていたんですよ。「あ、彼ら見て。彼らはYouTubeプロモーションもしないし、彼らはまあそういうことも気にしないみたい。ただやりたいようにやるじゃない。でもあれ？お金も上手く稼いでうまくやってるね。彼らはお金をなぜ上手く稼ぐのかな？」

私たちが最初に売上が非常に良く出た時に、HYBE財務チームから私たちに聞かれたこともありました。「あなたたちはなぜこのように制作費がこんなにかからないで、なぜこんなにたくさん残るの？ミュージックビデオをこのように何本も撮るのに、あなたたちは制作費を節約する理由は何？」

それは私がプロデューサーだからなんですよ実は。プロデューサー出身だから無駄なお金を上手く使わないんです。そして私が信頼するプロデューサーたちと仕事をするから、この人たちが私を裏切る理由がないんです。（笑）私の分は受け取って仕事をして、そしてワンソース・マルチユースをするわけです。

私は実は、その私たちが"Hurt"というミュージックビデオがあるんですよ？最初に撮った。その"Hurt"ミュージックビデオは、1時間で撮ったのかな。ただ制作費がないんです。なぜなら"Attention"ミュージックビデオを撮る時に、ただ私が監督さんにこう言いました。

「ねえ、私たちお金もないし、でも私これミュージックビデオ撮りたいの。でもただメンバーたちの顔アップで撮ろう。顔だけバーンと映るように。」

なぜならファンの方々はそれが好きなんです。でも私たちのメインミュージックビデオにその、いわゆる'顔アップ'をすることができないじゃないですか。その面白くないじゃないですか、そうばかりすると。メインミュージックビデオに力を入れなければならないでしょう。でも顔アップも見たい。それならどれだけ良い？収録曲で顔アップを撮るわけです。でもそれが何が難しいの？可愛い子たちを連れてきて、ただ撮るだけでいいのに？そのため1時間もかからずに撮ったんですよ。それが制作費が何がかかるんですか。

つまり私は頭さえ上手く使えば、実はとても節約して全部上手くできる。私たちのミュージックビデオの制作費が実は業界平均よりどの程度低いんです、すべて。なぜならHype boyを撮る時も、私たち一本撮る費用で四本を撮ったんですよ。何か、まあ私たちのレーベルだけ、まあ投資費が多くかかるとか、そんなことではないんです。そしてミュージックビデオの投資費を誰が一つ一つ毎回する度にこのようにくれる。それは経営に対するマインドがなく、その財務的観点がないから、外からわからずにする話であって、投資金をご存知の通り一度に入ってきます。そうしたら社長が、経営者の姿勢でそれを分けて、自分でその家計をやりくりするわけです。

私は最初からモットーが「出資をこれ以上受けない。受けたお金から最大限最小限で使いながらする」。なぜなら私は基本的に私の性向が借金をすることをとても嫌う性向なんですよ。そのため早く黒字転換をするための戦略を立てたわけでした。そのため実はミュージックビデオの制作費が多くかかる理由もなかったし、多くかかるように撮りたくもなかったし。

私たちが海外に行った理由も、何か私が外国崇拜で海外が好きだからではないんです。本当に純粹に一番目の理由が何かというと、外に出て撮りたいのに音楽を流すためには、韓国では撮れないんです。考えてみてください。野外撮影で私たちの音源が流出してしまうじゃないですか。それをどうやって野外撮影ができるわけがありますか？

そのため最大限離れた所、最大限知られていない国に行って（笑）私たちが外に出てその、このように音楽を流して、干渉がない国で撮りたくて実は行ったんですが、行けばお金がもったいないじゃないですか。そのため一度行ったのなら、たくさん撮らないと。そのため実はこれからそのような観点でスケジュールリングを非常に緻密に。その代わり、私は残業するのがとても嫌いなので、最大限たくさん寝られるように。

そして海外に行くと、海外のスタッフたちも最近は、国内でもみんなそうですが、それがすべてまたお金になるんですよ。夜に撮ればまた、もっと多くあげないといけない。そのためこれからいろいろ頭を使うわけですが、その時々で。これから私たちがどうすれば効率的にこのミュージックビデオをこのようにテンポよく撮ることができるのか。ただ私はそれが私の業務のノウハウだと思います実は。

11. [1:30:50] もうやめよう疲れた、年を取ったADHD

サレニュース イ・イエジ

はい、私サレニュースのイ・イエジと申します。私は大きく二つの質問があるのですが、今後ADORはどのような形式で運営されて、ADORとNewJeansにどのような変化があったのか、そしてADOR内部の職員たちの反応と雰囲気はどうだったのか気になりますし、二つ目はHYBEのコミュニケーション問題で、いずれにせよ問題が深刻化したと思うのですが、これからどのような方法でHYBEとコミュニケーションを取っていく予定なのか気になります。

ミン・ヒジン

その、まあ、ADORは今心配が多いですよ。今私には普通のふりをしていますが（笑）構成員たちがどれだけ心配が多いのでしょうか。でもこれから昨日、私が勝訴をしてから私に来た、あのメッセージたちを見ると、それがひしひしと伝わってくるんですよ？その気持ちが。そのためこれからまあ私もADOR、私たちの構成員たちに明日メールを送ります。ただまあ、その間にあったある様々なことで、これからメールを一度送るのですが、その方々の心情を私が代わりにお話しするのは、まあできない話なわけで。とにかくまあ皆が突然受けた晴天の霹靂だったため「何だろう？」とこうしてから「え、え、え？」とこうしてから、実は一ヶ月が過ぎてきたような感じですし。

二つ目の質問は何でしたっけ？

サレニュース イ・イェジ

これからHYBEとどのように続けてコミュニケーションを取っていられるのか。

ミン・ヒジン

あ、先ほど続けて何度も申し上げましたが、これから相手がどのように出てくるかによってとても変わる話のようです。ただこれがまあ、あ、良い方向で良く進行される可能性もありますし、あるいはまた、もしかしたらまた争いが続くかもしれないし、まあどうなる可能性もあるし、まあそうですよ。でもこれから私はとても疲れていて、私にそんなお金があるわけでもなく...私は弁護士費用を払うのも、この普通の方々ではないじゃないですか。これが一時間にいくら高い方なのか分かりませんよ。（笑）でも...でも、私が一ヶ月の間にしたのに着手金がいくらになるのでしょうか。私インセンティブ、まあもらったと言いましたよね、20億？それ弁護士費用で全部終わりましたよ、もう。（笑）でも...実際にそれ終わりましたよ。まあ税金引かれたら、それが何が残るのでしょうか。そのためもうなくなっちゃいました。

そして、まあ、私は一喜一憂しながらちょっと生きてきた人なので、ガツガツ貯めてお金を多く貯めておいて、そんなスタイルでもないんです。ただその時々必要なら使って、まあ未

来を、ガツガツ計画して、そんなスタイルではないんです、ただ。私はPですよ、P。職場生活をとても長く多くしてきてJにとっても近くなったP。たまたまJ 1%、このように出るそんなPなんですよ。

だから、ただ、そのため私はこの仕事が私に少し合っていたような気がします。なぜならば、融通が効いてとても瞬発力があつたため、これがファンとのこのやり取りがとても面白かったんですよ、私は。つまりこれが打って出て引くのが早いから、ファンたちも私は何かしてあげるととても喜んで、これは私もまたとても良くて、そのためまたもっとしてあげなくて。このようなことが少しあつたような気がするのですが。これからあの、そのHYBE... 私がなぜお金の話を、なぜしたんでしょう？私がこのように年を取っていつてずっと話が... でも私がなぜお金の話をすることになったのか？私もそれがよく分かりません。

つまりこれが年を取ってみると40を超えていきますよね。そうすると本当にお母さんたちが名前を忘れるのが、私昔は、なぜ私たちのお母さんがこのように名前を忘れるのかと思っていたのに、私がそうしているなんて... (イ・スツミの軽い喚起) そうですよ。私がまたADHDが少しありますので、このように（笑）本当に申し訳ありません。

つまりその、とにかくこれからまあHYBEとは、これからまあどうなるか、よく分かりませんよ。分からないのですが、ただはあ...ただ疲れています。あ、疲れた話をしているうちにしてしまいました。つまりこれが世論戦もとても疲れるし、お金の話が、なぜ出てきたかという、何か私がまあ何か逆バイラル、バイラル、何か...何を私が何ができるでしょうか、一体、一人で。え？いいえ、まあ話にもなりませんよ。今記者の方々にこれを配るのも大変で死にそうなのに。そんなこともできないし、これ、この紛争をより長く引っ張りたくもないんですよ。これがとても疲れるんです、本当に。そのためただ早く効率的に。ただ。

なぜならば、またHYBEもお金がたくさんかかるじゃないですか。まあ無駄な紛争に、このようにずっとお金を使う？お互い同じ状況で、幸いに裁判所がこのように判決を下してくれたある分岐点が生まれましたよね。そのためずっとこれからこの話をしているんです。そのためまあ腹が立つのを比べたら誰がより腹が立つか、このような対決をするのが無意味だか

ら。実は先ほど裏切りも同じじゃないですか。私の立場では「え？あなたが先に裏切ったのに？」まあ、相手の立場では「いいえ、あなたが私を腹が立つようにするんだ」まあこの...
ずっとこれじゃないですか。そうしたら卵が先か鶏が先かを、なぜ株式会社でしなければならないのか。（笑）

これが友達同士なら、終わりのない論争で、ただまあ絶交をするなり何をするなりできるのですが、友達同士ではないじゃないですか。私たちは利害関係で会った人たちで、そうしたら利害関係に決断を下さなければならない。つまりその決断が、一ヶ月したらもう十分だ。うんざりだ、お互いに。そのためどうにかしてでもしなければならないし。そのためこれから私は、NewJeansの未来を考えてでも、HYBEの未来を考えてでも、まあむしろ私一人で考えれば楽ですよ、ただ。でもそれではなく、これから皆で一緒に未来を考えると...

これから私が子供のように考えましたよね。私たちの子供たちの未来を考えると、この子たちにその希望の拷問がどれだけ辛いでしょうか。私たち、いろいろどうしようと決めて「わあ！」勢いよく盛り上がっていたのに、突然すべて無駄に。とても辛くないですか？そこでまたJな友達たちは、より辛いはずですよ、おそらく。どうなるんだろう？とこうなるはずなんです。そのためとにかくこれからそのような観点で私も一歩引くつもりですから、引こう。疲れた。このような、このような話です、正直に。

そろそろ終わりじゃないですか？

12. [1:36:24] 他人が美しい人生を送るのを見るのが好き

進行者

私たちの時間が本当に多くなりましたので、これから少し終わりにしましょう。もし気になる点がございましたら、私たちの方に質問をくだされば、私たちが回答を整理してすべて別途お送りするようにいたします。締めのお言葉をお願いいたします。あそこ手が、はい、一番後ろの男性記者の方、はい。

コリアヘラルド キム・ジェフン

こんにちは。私、コリアヘラルドのキム・ジェフンですが。まず、この事件の発端がILLITの盗作だったと承知していますが、いまだにILLITがNewJeansを盗作したと思っていられるのか、そうしたらこれからはHYBE内で他のガールグループや、このようにNewJeansの盗作疑惑がかかれば、その時は問題提起をされるのか気になります。

ミン・ヒジン

その、私が申し上げたように、私は割と一貫しているタイプの人間です。突然私が考えが変わっているはずはないじゃないですか。でもメンバーたちについて言及したくないと言いましたよね。そのためこの争点は実はその問題提起とはまた違う争点になったんですよ。実は今このことは。そのため私はこの話をこれ以上したくないし、私が、なぜならば言及すれば言及するほど、その方々が不快になるため、したくないし。

問題提起は、まあ盗作であれ何であれ別として、私は健全な問題提起は常に必要だと考えています。つまりどんな問題がどこで発生するのか誰も分からないため、これから。そうしたらこれから、ある瞬間に疲れるのは、通り過ぎることもあって、これは本当にしなければならないなと思えばするわけで。でも私にとってはその当時に、まあ今もそうですが、とても必要な問題提起だと思ったため...

つまり裁判所もそれを認めてくださったじゃないですか。そのため本当に必要な問題提起だと思って、なぜならこれは少し生存だと思ったんですよ、私は。そのような問題提起だと思ったことで、これから次にもまあそのようなレベルが生じれば、しなければならないでしょう。

でもそれは、まあまた私も経験する可能性もある話じゃないですか。そのためまあ私は一生経験しないでこうなる話ではなく、誰にでも経験する可能性のある話なのに、このような問題提起をどう解決するか。私が申しあげましたよね。ある日には私も腹が立って、あ、ただすべて爆発させようか？とこうしたり、ある日は、はあ...何を爆発させるの、ただ我慢しよう。でもカカオトークにその気分がすべてあるわけではないじゃないですか。私が気分が良い時にカカオトークをすれば、あ、ただ我慢しようになるわけで、気分が悪い時にカカオトークをすれば、爆発させようとなるわけじゃないですか。いいえ、皆様はすべてのカカオトークに自分の日記のように自分の気分を秒、時間単位ですべて記録するんですか、他人に？そして相手によってもそのトーンとマナーが変わるんですよ。内容が変わって。

そのためこれから実はまあ、問題提起はいつでもあり得る。私も受ける可能性があって、他人にもすることができる。でもそれは、まあ実はまた健全な観点で上手く解決していかねればならないのではないかと。私だけに該当した話でもないわけで。これからはあ...まあそうです。

それからこれから締めくくりをしなければならないので、私が記者の方々にも...分かりません。私をととても不憫に思ってくださった記者の方々が結構いらっしゃって（笑）この機会を借りて、私は本当にとても感謝な方々があまりにも多いです。私が実は昨日、はあ、これ勝訴しなければならないのと思った理由の中で最も大きな理由は、私をこのように知らない方々がこのように強く信じてくれて、このようにするのに、この人たちを失望させたら本当にいけないと思って、涙が出たわけですよ。

そのため私がどのような形であれ後で...（笑）実は今、そんなに現金がないんです。そのため今ではないですが、私がお金をたくさん稼ぐことになれば、私は正直にはっきり決心しました。100億以上は私は使いたい。ただ社会に。なぜならばそのようにまあ背負って行くお金でもないし、それが何がそんなに必要なの。使いたいし。

そして私は正直に何という考えまで浮かんだかというと、その路上に思い切りお金を撒きたかった。(会場笑い) その、私の家の前にこのように列を、ずっとスシと言って、私に応援を送ってくださった方々、私が思い切って(笑) 100万ウォンずつでも皆さんに差し上げた。これが狂った... まあ変な考えかもしれませんが、気持ちがそうだったわけですよ実際に。これを私一人握っていて一体何をするの。ただおいしいものでも買って差し上げて...

私、私たちのファンの方々を見るととても... 私がBUNNIESたち、私たちのファンミーティングに来られた時に、私がお腹が空いて食事を食べに行ったのに、そこで私たちのものをた全部持っているじゃない。私とても感謝なの。一体何の、何でこれをこんなに好きでいてくれるんだろう。そのため私は私たちがこれを、その方々のおかげで売上をこのように上げているのに、私がお腹が空いて食事一回をご馳走するないんですか? とても... 私は千回でも買えますよ実は。

そのためただ私は実は私がこのように好きな方々にビジネスをするということが、心が本当に痛いことがあります。でも、そのため私がしてあげたいのは、良いものが言葉だけではなく本当にこういうのがありますよね。私が良いコンテンツを100個作るじゃないですか? そうしたらお金がなくて目を閉じて何でも取っても良いの。選ばなくても買っても目を閉じてただ何でも取っても、あ、ハズレなし。私は実はそのようなコンテンツを作ってあげるのが実はこれからファンの方々に対する私のフィードバックだと思います。(涙声で) まあ仕方なく...なぜ涙が出るのかはわかりませんが...

ただこのように私がいずれにせよこれで、このような方々でお金を稼がなければならないじゃないですか。でもこれをこれから、そのように稼がないように...これが私が良心に痛まないように稼ぐとすれば、その方々がお金を使う時に「あ、私はお金がもったいなくない」という気持ちを持って、これからお金を使えるようにしたいし。そのため私が心がとても辛かったのに、これから、その勝訴する前まで約3、4日が地獄のようだったわけですよ。

すべて明らかにしたくて、立場表明すべて出したくて、でも...すれば、より問題になるじゃないですか。そのためできなくて、そのジレンマのために苦しかった時に、私の唯一の慰めが何だったかというと...

私が今回のアルバムを作る時に、私の願いがそういうことだったんですよ。これから曲の雰囲気や何かこのような感じのために、少し昔のアルバムたち。私はそういうのが好きだから。昔の私がいまにも素晴らしいそのグラフィックのそのアルバムたちを家にこのようにずっと陳列して置くわけですよ。それを見て私は癒しを得るスタイルなのですが...私たちのデザインが少しそのような感じで消費されたいなという考えがあったのですが、ファンの方々が証明をそのような形でしてくださるんです。インテリアで、部屋づくりを凝らしてくださるんです。

あ、私は、わあ、洗練された人たちだけBUNNIESになるのかな？（笑）あ、何だろう？とても正直に言って、ファンの方々を自慢したいんです。このようにセンスが溢れる人たちが世の中に多い。そのため私が見ながら慰めを得ながら、その狂った人のように...私をタグ付けすると、それを狂った人のように、インスタストーリーに次々とリポストしたんですよ。

ただそれが私にとって...まあ私はなぜそれが慰めになるのか分かりませんが、ただ綺麗なものを見るといいし、誰かが何か好きなものを見るといいし、そしてその方々がそれで人生に何かその自分の人生が少し豊かになる、そのような何か享受される感じを見るのが私は良いような気がします。つまりそのようなところで何か...まあこれが変態なのか何なのか分かりませんが、他人が少し美しい人生を生きるのを見るのが良い感じ。そのため実は今それがとても実現されたので、私の目の前に実現されて、私にそれがとんでもないカタルシスだったんですよ。そのため実はとても感謝だというお話も申し上げたいですし。

とにかく私がまあ何か判断が下されて、どうなるにせよ、感謝の気持ちはそのまま、いずれにせよただNewJeansのために良い判断がされたいと思います。まあ私はどうにかしてでも自分で上手く食べていって生きていけるでしょう。でも今から、この子たちはまだ

それでも私を頼りにしていた子たちだから、ただこのように大人たちがいずれにせよそれでも、このように少し上手く、良い判断をしてくれたら良いなと思いますし。そのためいずれにせよ私はそれで何か金銭的妥協も十分にできるため、そのような欲を出しながらすることではないので、私の行動をこれから見ていただければいいじゃないですか。

そのためにも記者会見をしているんです。つまり、ただ正直なのが良いのでしているんです。ただ分かりません。私は全世界が私を誤解しないでくれたらいいなと思って。そのまあこれでもまた誤解して何とかするでしょうが、それはまあどうしようもないですよまあ。私はできる限りのことはしたと思うので。

そのためとにかく私は勝訴をして心が晴れ晴れします。冤罪を晴らしてとても晴れ晴れするし。ただどうなったとしても子供たちのために良い判断が下されたらいいなと思います、ただ。とても感謝で、とにかく、はい。

進行者

ありがとうございます。はい、これで終わりにいたします。質問を終わりにして。もし気になることがありましたら、別途お話しくださいますようお願いいたします。はい、今日お越しくださしまして、誠にありがとうございました。

SHIBAL, I HAVE TO WIN THIS